

(水産研究所) 試験研究成果報告書

番号	R1-事後1	課題名	ノリ新養殖品種の開発研究					
期間	H26～30年度	担当部課室	開発利用室					
試験研究の成果	1 目標達成状況	高水温及び低栄養塩耐性候補株を複数株作出し、室内試験と野外養殖試験により耐性評価と養殖漁場への適性評価を実施した。						
	2 具体的効果	高水温耐性候補 4 株と低栄養塩耐性候補 2 株を作出し、室内での耐性評価試験に基づきそれぞれ 1 株を選択して野外養殖試験を実施した。高水温耐性候補株は標準品種より生長性や収量性に優れたが、高水温への耐性は不明瞭であった。低栄養塩耐性候補株の栄養塩低下時期の黒み度は、標準品種よりも高かった。						
	3 当初目的以外の成果	特になし						
	4 費用対効果	算出困難						
実施期間中の状況	1 推進体制・手法の妥当性	開発利用室の研究員 1 名が主に従事し、必要に応じて同室、他室が協力した。また、ノリ養殖を実施する漁業協同組合の協力を得て、養殖の実態に合わせた試験を実施した。						
	2 計画の妥当性	H26～H28年に高水温及び低栄養塩耐性候補株を複数作出した上で、H28～H30年に室内での耐性評価と野外試験による養殖特性評価を行い、5年間で概ね目標を達成した。						
成果の活用・発展性	1 活用可能性	標準以上の耐性を持つ候補株を作出したが、直ちに現場へ普及する段階には至っていない。後継事業において実用性のある株へと改良して活用を図る。						
	2 普及方策	知的財産権の扱いを検討しながら、作出した新品種を民間の種網生産業者へ提供し、県内ノリ養殖業者への普及を図る。						
	3 成果の発展可能性	環境変化への適応や味、色調の改善など、新品種開発に求められるノリ養殖業界からの要望は多い。今後、高水温や低栄養塩耐性以外の有用形質を持つ品種開発において、今回の特性評価手法の活用が期待される。						
実績	実施内容	年度	H26	H27	H28	H29	H30	総事業費
	品種選抜 耐性の評価 (室内試験) 養殖特性の評価 (養殖試験)		○	○	○	○	○	〔 単位 : 千円 〕
		計画事業費	919	873	838	923	895	
		一般財源	919	873	838	923	895	
		外部資金等						
		人件費(常勤職員)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	0.2人×8,000千円
	総事業コスト	2,519	2,473	2,438	2,523	2,495	12,448	

留意事項 当初試験研究計画書及びこれまでの試験研究中間報告書を添付すること。